

はばたき

大分大学教育学部

附属小学校便り

平成28年6月20日

北野学長訪問

「おはよう。みんな、おはよう！」

6月17日の朝、授業をしている子どもたちの様子を見に大分大学の北野学長が本校にいらっしゃいました。

学長「おじさん誰か知ってる？」

子どもたち「……？」

学長「大分大学の校長先生だよ。」

子どもたち「え〜っ！！」

学長「外科のお医者さんなんだよ！」

どの子どもにも優しい笑顔で自分から話しかけてくださる姿に、一瞬びっくりした様子を見せる子どもたちでしたが、そこは、さすが附属の子どもたちです。すぐに、笑顔で挨拶を返していました。

また、附属小学校の子どもたちの中には、将来お医者様になりたいという子どもも多く、しかも、附属の子どもはとっても人なつっこいので、学長は握手攻め、サイン攻めにあっていました。冷や汗をかく？担任の先生をよそ目に、喜ぶ子どもたちと笑顔いっぱいの学長。短い間でしたが、附属の子どもたちの明るさを学長にも体感して頂けたようでした。

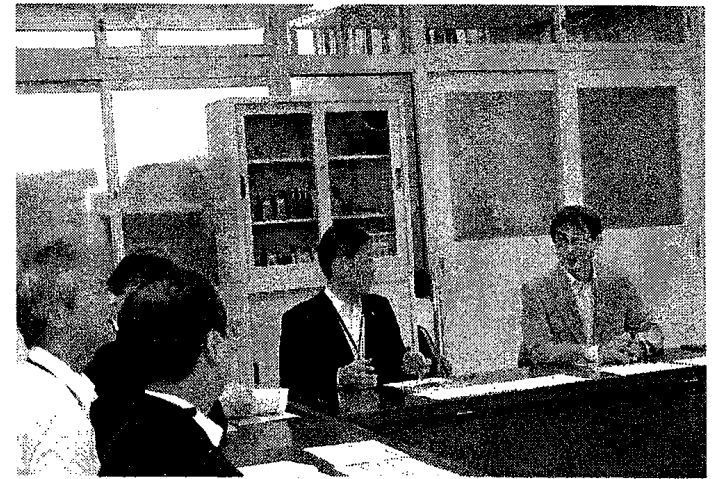


気さくに自己紹介される北野学長



サインにも快く応じてくださいました

授業の様子を見て頂いた後、河野校長から本校の子どもたちが、今頑張っている「朝の無言掃除」「外国語活動」「フリートーク」「あいさつ」など映像を交えながら、説明をさせて頂きました。北野学長をはじめ同行して来て下さった望月副学長、古賀学部長、結城事務長も目を細めながら子どもたちの様子を見て下さいました。校長の話の後に北野学長から



「子どもたちが明るく前向きで、とてもよいですね。自分は医学部ですが、あのような子どもの様子を見ると、教育学部はいいなと思います。私も実際に若い外科医を指導しますが、教育という部分では一緒、とても大事です。」と、という言葉頂きました。

また、本年度からより実践的になった教育実習の様子についても説明しましたが、学生の感想や学部の先生方からの様子も聞いていたようで、ここ数年の本校の改革を含めて高く評価していただきました。

帰り際に、校長が本校の児童は医者を目指している子どもも多いという話をしたところ、

「うちの医学部の先生の話が聞きたいなどあったら、いつでも言ってください。協力しますよ！」

と、言葉をもかけて下さいました。

先月は文部科学省の柳澤室長が6年生に特別講義をして下さいましたが、子どもからの評判がよく「今度はお医者様のお話が聞きたい」という第2弾のリクエストもありました。ひょっとしたら、実現する日も近いかもしれません。

「ほめ言葉のシャワーと成長ノート」で目指すもの

研究主任 築城幸司

子どもたちが安心、安全に通える学級をつくろうと、本年度より全学級で「ほめ言葉のシャワー」と「成長ノート」への取組を始めました。

「ほめ言葉のシャワー」とは、帰りの会の時に1人の子どもが教卓の前に立ち、クラスの全員がシャワーのようにほめ言葉を投げかける取組です。この「ほめ言葉のシャワー」には、2つのねらいがあります。

1つ目は、自己肯定感を高めることです。友だちから様々なほめ言葉を受けることによって、自分のいいところを再確認したり、新しいよさを発見したりすることを通して、自己肯定感を高めることができます。

2つ目は学級に受容的な雰囲気をつくることです。お互いのよさを見つめ直し、相手の立場に立って考えることができるようになったり、毎日たくさんほめあう言葉に接したりすることを通して、学級に受容的な雰囲気をつくることができます。

「成長ノート」は、行事の前後や日々の生活の中で、子どもが自分の気持ちや成長したことなどを書き記し、教師がそのことを認め価値づけたコメントを返していく取組です。この「成長ノート」にも2つのねらいがあります。

1つ目は子どもたちに、心の成長を実感させ、自己肯定感を高めることです。学校生活の中での望ましい姿や考えさせたい出来事について、自分の内面を見つめさせながらその時その場面にあった言葉で書かせたり、それに対する教師の考えを伝えたりすることを通して、心の成長を実感させることができます。心の成長を実感することができることで自己肯定感を高めることができます。2つ目は、各学年にふさわしい「公」を意識させることです。学年にあった望ましい行動について、個々での内省と教師との対

話を繰り返すことで、「公」という意識を育成し、高めることができます。実際「ほめ言葉のシャワー」では、クラスの全員から様々なほめ言葉を受けるので、ほめられる子はとてもうれしそうにしています。またほめるほうも友だちのいいところを見つけようとよく観察している姿が見られます。「成長ノート」では、行事を通して自分の心境の変化や頑張ったことを書いています。そのことをまた次の行事前に見直すことで今の自分と前の自分を比べ心の成長をとらえることができているようです。

2つの活動とも自己肯定感を高めることが共通しています。自己肯定感が高まった子どもは、友だちのことを認めることができるし、「公」のことを意識することができると思います。全学級で「ほめ言葉のシャワー」と「成長ノート」への取り組むことで、子どもたちが安心、安全に通える学級をつくることができると考えています。

6月21日には「ほめ言葉のシャワー」、「成長ノート」の提唱者・実践者である菊池省三先生を講師として招き、研修を行います。今後さらに取組を深めていきたいと考えています。

《7月の主な行事》

1日(金) 1・2年PTA	21日(木) 家庭訪問・三者面談
5日(火) 3・4年PTA	27日(水) 家庭訪問・三者面談
6日(水) 5・6年PTA	28日(木) 家庭訪問・三者面談
20日(水) 1学期終業式	8月1日(月) 家庭訪問・三者面談